

様式第2号（第8条関係）

審議会等会議録

会議の名称	令和4年度第2回加須市水道事業運営審議会
開催日時	令和5年1月24日（火） 午前9時30分から午前11時03分まで（会議終了）
開催場所	加須市上水道管理センター2階会議室（水道課） （久下4丁目50番地1）
議長氏名	黒川 澄子 会長
出席委員	黒川 澄子 会長 服部 勝良 副会長 金井 恭一 委員 北野 均 委員 平井 喜一朗委員 岡田 輝彦 委員 鈴木 君恵 委員 黒崎 嘉人 委員 黒田 茂子 委員 大島 さち子委員 青鹿 和子 委員
欠席委員	村田 秀子 委員 織田 和仁 委員 鎗田 和子 委員 中西 秀一 委員
会議次第	1 開会 2 会長あいさつ 3 委員紹介 4 市長あいさつ 5 諮問 （1）「第2次加須市水道ビジョン」について 6 議事 （1）「第2次加須市水道ビジョン」について （2）その他 7 閉会
会議資料の名称	資料1 第2次加須市水道ビジョンの策定について 資料2 第2次加須市水道ビジョン
会議の公開又は 非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴者の数	0人
説明者の職・氏名	上下水道部長 立岡 昭一 参事兼水道課長 石川 達雄
事務局職員職・氏名	上下水道部長 立岡 昭一 参事兼水道課長 石川 達雄 同課主幹 藤間 博道 同課主幹 若山 貴博 同課主任 田畑 宗矩
会議録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録 <input type="checkbox"/> 全文記録
その他必要な事項	

様式第 3 号（第 8 条関係）

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
事務局	1 開会
【2 会長あいさつ】	
会 長	(会長あいさつ)
【3 委員紹介】	
事務局	(委員紹介)
【4 市長あいさつ】	
市 長	(市長あいさつ)
【5 諮問】「第 2 次加須市水道ビジョン」について	
市 長	(諮問書の手交)
【6 議事】(1)「第 2 次加須市水道ビジョン」について	
事務局	(事務局より説明) 資料 1 加須市水道ビジョンについて (概要) 資料 2 加須市水道ビジョン (案)
【質疑・意見】	
金井委員	資料 2 の 3 ページ、図 1-2 広域化ブロックの加須市が属する第 10 ブロック (加須市、行田市、羽生市) は統合を進めるブロックと位置づけされていますが、エリア分けされた理由についてお聞かせ願いたい。
事務局	水道事業の広域化は、埼玉県ビジョンにおいて位置付けられており、加須市、行田市、羽生市によるブロック分けの理由としては、近隣市のなかでも地域性などを考慮しブロック分けをしているものと思います。
金井委員	資料 2 の 19 ページ、(3) 応急給水の 1 行目、「拠点避難所」を「避難場所」に修正してください。市の防災会議でも拠点避難所という表記は使用していません。 資料 2 の 41 ページ、③ 応急給水訓練の実績を教えてください。
事務局	「拠点避難所」を「避難場所」に修正します。 応急給水訓練の実績は、各地域の防災訓練に参加し年間 3 回から 4 回実施しています。なお、近年はコロナ禍のため実施していません。
金井委員	自治会のなかでも防災意識が高まっており、防災訓練を積極的に実施していることから、こうした訓練を個別にお願いしたいと思います。 花崎北地区の漏水の頻度が高いということを以前の資料で拝見しましたが、同地区の漏水状況はどうでしょうか。
事務局	令和 3 年度まで漏水対策として水道管布設替えを実施していましたが、最近、漏水がほとんどないため、一時休止して様子を見ています。
黒田委員	資料 2 の 32 ページ、5. 人材の育成について、職員数が合併時の 28 人から現在 12 人ですが、それだけ減ると職員の負担が大変ではないか。災害時であっても水の供給は欠かせないものですので、人を減らすことだけを考えないで確保し、水道の専門的な知識がある方の育成に力を入れてほしい。

事務局	合併時には 4 地域で行っていた水道事業を統合に合わせて組織の見直しを行い 1 か所に集約し、定員削減を行いました。安定的に水道水を供給できる体制の維持に努めます。
北野委員	外部委託をしているため、職員数が少ないということですが、水道は大切なライフラインですので、今の人数で職員がきちんと管理監督ができているのでしょうか。職員数は足りているのでしょうか。
事務局	職員数は足りていると考えています。 委託のなかで委託業者をどのように監督するのが重要ですが、浄水場の管理委託業務では専門的な技術や知識が必要です。民間委託は必要と考えます。
北野委員	加須市は人口が減っているが、世帯数は増加しており、給水区域が増えているが、その影響や見直しなどを把握してやられているのか。
事務局	水道ビジョンは、どこにどういう住宅が建つと、どういう水需要が必要になるということまでを把握した計画ではなく、マスタープランとして位置付けているものです。 しかしながら、委員の言われるとおりの世帯数だけはどんどん増えている状況でございますので、管路更新計画を策定する際に、こういった世帯数の増加についても検討していきます。
北野委員	管路の老朽化は、どこの自治体でも共通の課題ですけど、加須市のように白地のところが開発されると、水道事業も財政的に非常に厳しいと感じています。
平井委員	人口が減少し施設の老朽化が進むとともに施設能力が過剰になっていると思います。北川辺地域では、人口が 10 年後には 1 万人ぐらい減少するだろうという予想のなかで、現在の浄水場は、人口に対してどのぐらいの供給能力ですか。 浄水場を統廃合しなければならないと思いますが、今後、こうした施設は今後何箇所ぐらい予定をしていますか。
事務局	各浄水場の稼働率は約 50%程度ですので、倍近い能力と考えられます。 第 1 次水道ビジョンでは 9 箇所を 5 箇所にする計画でしたが、第 2 次水道ビジョンでは、まずは浄水場の統廃合計画を策定し検討したいと考えています。
平井委員	現状で稼働率が 50%程度ということは、相当無駄が多過ぎるというのは分かりやすいですね。やはり、今後 10 年、20 年、30 年先の人口は減少の状況が続くと思いますので これを見据えた施設の統廃合等が今回のビジョンでは必要だと思います。 過剰にならない程度の施設に維持をしていくというような内容を第 2 次水道ビジョンに記載して頂きたいと思いますが、どこかに記載されていますか。
事務局	資料 2 の 43 ページ、④計画的な統廃合に記載しています。先ほど説明しましたとおり、まずは浄水場の統廃合をするための計画を策定しますという内容にさせていただきました。統廃合計画を策定後に具体的な統廃合の内容を後期計画に反映していきたいと考えています。
平井委員	例えば、北川辺地域の浄水場は人口 2 万人規模の施設となっていますが、現在の人口は 1 万人程度であることから計画の半分であり、2 万人規模の施設に維持管理費が相当かかっている。このような無駄を省かないと水道料金に転嫁し

	ないとやっていけなくなるため、施設の統廃合を早急に進めるよう、第2次水道ビジョンにその内容を記載していただきたい。
事務局	施設の適正化を進めていくためには、施設の耐用年数なども加味して投資が増えないよう統廃合計画を策定していきます。
金井委員	資料2の18ページ、表3-4浄水場等の耐震化状況の表ですが、北川辺北部浄水場のRC造はどのような解釈なのでしょう。北川辺北部浄水場のRC造の耐震性能が入っていないのですが。
事務局	RC造の配水池につきましては、将来的にはPC造の配水池に統廃合する予定であり、耐震化されていない状況です。これは大利根地域も同様となっておりますが、RC造については廃止していく方向になると思います。
金井委員	金利が上昇傾向になっており、金利の面で借入先の変更とか、そういった対応は現在考えていませんか。
事務局	委員さんの言われるとおり、借り換えは一つの方法であり、借り替えることによるメリットがあるのであれば借り換えも必要だと思います。しかしながら制度上、借り換えができない場合もあります。
金井委員	健全経営をお願いします。
岡田委員	PDCAをどのように回していますか。加須市のPDCAサイクルの作り方をしていると、基本が出来ていないのではないかなという気がします。
事務局	水道ビジョンは毎年進捗管理をしております。
岡田委員	目標値の設定方法は、ある程度業務に負荷がかかるような形で設定しなければならないが、業務を実施したら100%達成という取組みが結構あり、大丈夫かと思えます。
事務局	評価の考え方につきましては、全庁統一的な考え方のもと、評価させていただいているというのが今の実態です。評価の考え方については、政策調整課が担っているので、PDCAサイクルの目標管理や評価の考え方について政策調整課にお伝えします。
岡田委員	改善点をいかに出していくかが本来のPDCAのやり方であり目的だと思います。問題点にどう取り組んで、それをどれだけ改善していったかというところを、評価するようなPDCAにしないと、駄目かなと思います。
事務局	貴重なご意見ありがとうございます。
黒崎委員	円安や円高などいろいろな要素があり料金を確認しようと思いましたが、令和14年度(2032年)までは、現状のまま維持するとなっております。先ほど事務局から説明もありましたが、ポンプの更新や高効率の設備を整備するなどといった対策を実施しているとのことなので、今後そうしたことを加味したうえで水道料金について色々教えていただきたいと思えます。
事務局	分かりました。
北野委員	工業用水は、加須市水道事業に含まれていますか。県水と井戸の割合が7:3となっておりますが、工業用水は関係ありますか。
事務局	工業用水として供給の事業は、加須市では行っておりません。工業用の水と

	して井戸を使って工業用水を汲んでいる場合、そういった井戸からくみ上げる水の管理は、埼玉県環境の部門で管理をしています。
会 長	他に何かございますか。 他にご質疑等はないようですので、委員の皆様からいただいた御質問や御提言の内容を十分に踏まえ、本審議会といたしましては、皆様の御了承をいただけるということによろしいでしょうか。
	(異議なしの声あり。)
会 長	「第2次加須市水道ビジョン」につきましては、ただいま御了解をいただきましたので、答申させていただきたいと思います。 なお、答申書につきましては、本計画に基づき「将来にわたり安全な加須の水の安定供給」の実現に向け、要望し答申したいと思いますが、よろしいでしょうか。
	(異議なしの声あり。)
会 長	次に、事務局から、答申書の提出について説明をお願いします。
事務局	答申書の提出でございますが、本日の会議から概ね2週間以内に、運営審議会会長から市長へ答申させていただきたいと存じます。
会 長	ただいま、事務局から説明がございました。 答申につきましては、本日の会議から概ね2週間以内に答申させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。
	(異議なしの声あり。)
会 長	それでは、市長へ答申をさせていただきます。
【6 議事】(2) その他	
会 長	議事(2)その他につきまして、事務局から説明をお願いします。
事務局	まず1点目、第2次水道ビジョン策定の内容につきましては、本日、委員の皆様のお了承をいただけたところでございますが、細かい字句等の修正につきましては、事務局に一任させていただきたいと存じます。 次に2点目、第2次水道ビジョンの市民等への周知についてでございます。 今後、審議会の答申を経て、市議会へ報告後、速やかに市のホームページ等で公表し市民等への周知を行って参りたいと存じます。 また、当審議会の各委員の皆様には第2次水道ビジョンの製本版を送付させていただきます。
会 長	計画書の字句等の修正につきましては、事務局に一任するというところによろしいでしょうか。
	(異議なしの声あり。)
会 長	その他、何かご意見等がありますか。 特に無いようでございますので、以上を持ちまして、本日予定されました議事は全て終了しました。
【7 閉会】	

事務局	以上を持ちまして、令和4年度第2回加須市水道事業運営審議会を閉会とさせていただきます。 本日はありがとうございました。
会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。 令和5年2月 2日 署名 <u>黒川 澄子</u>	